

大学入試に関する新聞記事を読み、それぞれが意見を記述しました。

試験の仕方を変えようと焦っていた結果、問題点が大きく残ったまま、試験を受ける多くの学生を困らせてしまふ。たのたと思う、問題を再度、リフレーミングして、まず、根本的なことから何が悪かったのかをしっかりと把握し、24年度と焦、てきめるのはやめてほしい。また受験生のために、状況をしっかりと理解できるような本や、リーフレットを発行し、もっと受験生が対策できるように考えられると良いと思う。

以前の、メジロを通し英語民間試験を導入すること、決まっていた。いまさら何をいっているのか...という、いさざかりを感じている人が大勢いることに、共感。受験生にとっては、一大イベントである大学入試。この時期にもなると、おおごめをふかしているように。だから、この見送りの問題においては、受験生をもつ保護者や塾(予備校)、教師は、たぐひの人に迷惑をあたらないように。今後、国民を振りまわすことはいらない。しっかりと決めてほしい。

「読む・聞く・話す・書く」の4技能は中学生のうちから延びていくべきではないかと思う。この英語民間試験においても、一度受ると決めたなら、最後までやるべきだと思ふ。しかしその試験のために英検を受けた高校生たちを「ムダ」といふこと、言うのは少し違和感がある。なぜなら、これは大学入試において、英検を受けたというだけでよいこともあるし、英検はその先も受けていられるものだから。どちらにせよ英検は必要になると思ふ。急なことではあるが、それだけに高校生として対応するべきだと思ふ。